



市職員の認知症サポーター養成について

本市では、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を推進しています。認知症は、誰でもかかる可能性のある脳の病気です。高齢者の方の5人に1人が認知症にかかると言われており、松戸市内でも認知症の方が約2万人いらっしゃるとう推計されており、近年、来庁者に高齢者の方の増加がみられます。

このような現状から、市役所職員が認知症サポーターになることで、認知症の方に優しい市役所を目指し、市職員向け認知症サポーター養成講座を平成 28 年度から実施してまいりました。

この3年間で全 42 回の講座を実施し、松戸市役所全職員が認知症サポーターになりました！

認知症の方やご家族が窓口にいらしたときにも、サポーターとして温かく接することができるよう、認知症の方との接し方や認知症サポーターとしての役割を学んでおり、受講した消防職員からは、「救急搬送時に認知症の方がいるので、今度から優しくゆっくりと話しかけたい」などの感想をいただいております。

認知症サポーター養成講座は、毎年新規採用職員研修としても人事課が実施しており、今後も継続予定でございます。新規採用職員にとりましても認知症について知る良い機会となっております。

全職員が市役所内だけでなく、市内で困っている方や認知症の方を見かけたら「何かお手伝いしましょうか」と声をかけられるように、今後も認知症の方への接し方について普及啓発に努めてまいります。



【問い合わせ先】

福祉長寿部高齢者支援課

☎ 0 4 7 - 3 6 6 - 7 3 4 3